

第 56 回夏期シンポジウム
「DX 時代の粉体工学：粉体工学とデータサイエンスの融合に向けて」
【講演募集】

主 催：一般社団法人粉体工学会
共 催：粉体工学と人工知能の融合研究に関するワークショップ，粉体シミュレーション
技術利用分科会（日本粉体工業技術協会）
協 賛：化学工学会，日本計算工学会，日本原子力学会，日本機械学会，粉体粉末冶金協
会（依頼中含む）

開催日：10 月 8 日（金）～9 日（土）

場所：Zoom によるオンライン開催

ドイツ政府が 2011 年に Industry 4.0 を提唱し，日本では 2016 年に内閣府が策定した第 5 期科学技術基本計画の中で Society 5.0 が提唱され，各国政府が AI（人工知能）や IoT（モノとインターネットの接続）技術を駆使したスマートファクトリーや超スマート社会の実現を目指し，デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が図られている。粉体工学は極めて広範囲なものづくりと係わっているため，DX の一環として大学や企業の研究開発においてサイバーフィジカルシステム（CPS）の構築が望まれている。試作品を製作せずに仮想空間で設計および生産の検討を行う CPS は粉体工学においても導入されるであろう。その一方で，既存の粉体工学技術（分析技術，加工技術，シミュレーション技術，など）も CPS において極めて重要となる。たとえ AI や IoT 技術が確立しても，粉体工学技術が確立していなければ CPS は実現できないためである。すなわち，コンピュータシミュレーションにおける数学モデルの高度化，実験による分析・測定技術の高度化，材料開発技術の高度化が十分になされなければ粉体プロセスにおける CPS は実現できない。このような背景から，DX 時代の粉体工学というテーマで夏期シンポジウムを企画する。本シンポジウムでは，主としてコンピュータシミュレーション技術，分析・測定技術，材料開発および人工知能のセッションから構成される。本シンポジウムでは，これらの分野の最先端の技術の情報発信がなされるのはもちろんのこと，異分野の研究者の積極的な交流を促したい。また，学生の発表を広く募集し，優秀な発表には学生賞を授与する予定である。

世話人：酒井幹夫（東京大学），飯島志行（横浜国立大学），森隆昌（法政大学），島田憲成（構造計画研究所），後藤邦彰（岡山大学）

講演種別：研究報告，研究速報，技術報告，技術速報，その他

発表形式：口頭発表

申込締切：[講演申込締切] 7 月 30 日（金）

[講演要旨集原稿提出] 8 月 20 日（金）

（申込者にフォーマットをお送りします。発表 1 件につき A4 用紙 2 枚の予定。）

講演申込方法：web サイト <http://www.sptj.jp/event/natsu/> よりお申込み下さい。

注：2022 年の粉体工学会誌 8 月号に、「夏期シンポジウム特集号」を組みます。シンポジウムで発表した内容を，論文，研究ノート，技術資料，解説等として希望される方は，2022

年1月31日（月）までに最終投稿原稿を事務局までご提出下さい。粉体工学会誌に投稿された通常の原稿と同様に査読が行われます。

参加費¹⁾：(先行振込扱い：10月1日（金）振込まで)

会員種別	参加登録費
維持会員 および賛助会員	1名無料 ²⁾ (2人目から5,000円)
事業所会員，個人会員 発表者，共催機関会員	5,000円
学生会員	2,500円
会員外（発表者以外）	10,000円

注1) オンライン開催のため10月1日以降の参加費の支払いは受け付けられません。

注2) 参加費無料の特典利用は，先行振込期間に申し込まれた場合にのみ有効です。

*参加募集は8月下旬開始を予定しています。